

会 議 録

- 1 会議名
第6回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議
- 2 議題
 - 1) 開会（公開）
 - 2) 議題（公開）
個別施設のデザインについて
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 3 開催日時
平成22年9月3日（金）午後2時から
- 4 開催場所
ラーバンセンター 第4研修室
- 5 傍聴人の数
3人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委員	伊藤えり子、大島政義、本山雅彦、飯塚むつこ、関由有子、平野仁、黒野弘靖、水野一郎
オブザーバー	奥野賢新潟県都市政策課長（代理：田口佳秀同主任）、田村定文新潟県交通政策課長（代理：小林佳布同主任）、桐山昭一新潟県地域振興課長、西田聡JR東日本新潟支社企画室長、斎藤浩同主席、滑川昌彦鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局建築課長、佐藤行雄同課長補佐
事務局（上越市）	竹田淳三総合政策部長、柴山弥松新幹線・交通政策課長、吉田正典同副課長、伊藤伸同係長、渡来美香同主任、市川公男新幹線新駅周辺整備事務所長、池田忠之同係長、田中幸治同主任
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社

8 発言の内容

(1)開会 (総合政策部長より挨拶)

(2)議事

個別施設のデザインについて (事務局より次について説明)
個別施設のデザインについて

(水野座長) 多くの項目についてデザインを説明いただいたが、質問はありますか。

(平野委員) 桜の開花について、現在4種類の桜を計画していますが、それぞれの咲く時期はどのようになるのでしょうか。

(事務局) シダレザクラが最初になりますが、できるだけ花の咲く期間が長くなるように考えている。

(平野委員) 桜のライトアップは、開花時期以外はどのように考えているのでしょうか。

(事務局) 詳細は設計段階での検討となるが、開花時にライトアップすることになると考えている。

それ以外の時期についてはベース照明で必要な照度を確保することとなり、また周辺民地に建築物が建てられることから、これら施設からの灯りも期待できる。

桜自体への影響もあるので、年中ライトアップすることはないだろう。

(平野委員) 始めて本駅に目の見えない方が来た場合の情報提供はどのようにお考えでしょうか。

(事務局) 資料中に詳細は記載していませんが、新幹線駅舎を出た場所にエキナカ空間を設け、その中にインフォメーションセンターの配置を想定しており、そちらで情報提供できると考えている。

(平野委員) 新駅に不案内の盲人がタクシーを降りて、エキナカ空間のインフォメーションセンターに迷わず行けるのか。タクシー・バスの乗降場所からインフォメーションセンターまでの案内を盲人にも解り易くする必要があるはず。ユニバーサルデザインの観点から音声案内なども考える必要がある。

(大島委員) ベンチ配置について、特に東口のベンチが少ないように感じられる。広場部分などにももう少しベンチが合っても良い。

(事務局) ベンチ配置については検討いたします。

なお、東口にはドーム内にもベンチを配置する計画であ

- り、ドームに人を集め、賑わいを出すことを考えている。
- (水野座長) 資料の5～10ページの建築的な部分について何かご意見がありますか。
- (本山委員) 一般車駐車場がロータリーの中であり、送迎利用の方が使われると思う。雁木横にも横付けできるのか。
- (事務局) そのように計画している。
- (本山委員) シェルターの張り出しは2mでよいのか
- (事務局) 2mの張り出しとしている。
- (本山委員) 運転者の方ははみ出る形になるのか。
- (事務局) 普通の車であれば1.7m程度なので、きっちり停車いただければ屋根の中に納まる。
- (本山委員) 技術的な話は分からないが、車は横付けにしないといけないのか。真っ直ぐ頭から突っ込むような停車形態はとれないのか。
- (事務局) 真っ直ぐに突っ込むような停車形態では、その後バックで退出することとなり、背後の交通との交錯による事故も懸念される。また国内にも事例はあまりない。
- (本山委員) 運転席を含めて、濡れない形態になればと考えた。お客様が濡れないような乗降ができればと思う。
- (事務局) 乗降場部分は送迎を考えているため、運転手の乗降は基本的には生じない、という考え方である。
このため、運転席側まで覆うかどうか、ということになり過剰な投資とも考えられるため、助手席側が濡れないような形態としている。
- (本山委員) 考え方は理解した。ただし、お客様が濡れない形というものを考えてもよいと思う。
舗装計画が出ていましたが、真っ平らなのですか。
- (事務局) 歩道部分は平になります。
- (本山委員) 消雪パイプはどのように配置されるのか。
- (事務局) 今回はデザイン検討のため、そこまでの検討は行っていません。今回は色合いやパターンについてご意見を頂きたい。
- (黒野副座長) シェルターの変更点がありましたが、雪のことを考えると、できるだけシェルターは途切れないほうがよいだろう。
西口のシェルターBは便利だと思うが、東口の南側歩道部分のシェルターは、民地を利用された方が駅へアクセスする

ことなどを考えると、利便性が高まる。予算の関係もあると思うが、できるだけシェルターを伸ばし、民地の所まで手を差し伸べられればよい。

- (事務局) 検討させていただきます。今回は中央で利用される方が多いということ、またロータリー手前で多くの車が停車すると、交通を阻害しかねない、ということもあり、ヒエラルキーをつけた。また駅前広場と公園の連続性を考えて提案させていただきました。
- (関委員) 西口の送迎バス部分について、利用者は荷物も多く、雪にもなれていないと思うので、ゆっくりと乗降できるような形ができれば良いと思う。
- (水野座長) 道路に屋根をかけられないか、という意見である。
そのような駅前広場は国内ではほとんどないと思うが、そこまでやるのか、という点になる。
- (事務局) 車のとまる部分は車道となるため、屋根の高さが4.5m必要となり、また車両の走行に支障しないよう柱を設ける必要があるため、施設自体が大仰なものになってしまう。
さらに他の施設との調和も図りにくいものとなるため、他の広場でもやられていないと思う。
- (水野座長) 東西の昇降施設については前回までの説明があり、皆さんのイメージにあっていると思うが、いかがですか。
- (平野委員) 東口の雁木下について、南方向に誘導ブロックが書かれていないが、意味はありますでしょうか。
- (事務局) 誘導対象となる施設が計画されれば、その動線上に設置することになるが、今時点では誘導対象施設がないため、記載していない。
- (平野委員) この先は市有地になるのか。歩道に誘導するという考え方にはならないのか。
- (事務局) 歩道に誘導するというよりは、その先の施設に誘導することを目的とするため、現時点では不特定多数の方の利用が想定される施設がないため、記載していない。
- (平野委員) 駅からの利用についての考え方は分かるが、歩道側からも考えると必要になる。どちらからの利用も考え、イベント時にも対応できるようにしておくことがユニバーサルデザインであると思う。
- (水野座長) 検討願いたい。

駅の東口、西口という呼称は決まっているのか。

- (事務局) 今現在、具体的な検討はしていないが、検討は必要と考えている。今後、駅全体について皆さんから意見をいただく機会を設け、検討したいと考えている。
- (大島委員) 西口のほうは桜が終わると、ライトアップがなくなり、暗くなるように感じられる。
- (事務局) 設計段階では、広場の明るさに関する基準を確保できるように照明を配置することになります。
したがって、民地側に支障しない範囲で照明を配置することになる。
- (大島委員) シンボルロードを入ってくると行灯風に見えることになるが、入口部分の灯りが少ないように感じる。
- (事務局) 図面上での表現はイメージである。まるく表現しているが実際には光はもっと緩やかに広がるので、真っ暗になることはないと考えている。設計時に明るさを確保できるよう、必要な配置を行うことになる。
- (飯塚委員) 足元照明があると、動線が確保でき、周辺への弊害もなく、必要な灯りが提供できるだろう。ベンチを使うなどの工夫をしても良い。
- (水野座長) まちができてくる時期と、整備された時期では状況が異なるので、フレキシブルに考えておく必要がある。
また桜の時期はお祭りのようになるので、仮設的な対応が必要になるだろう。
- (事務局) イベント時の対応を図るため、広場部分には電気設備等を事前に埋設しておくことを考えている。
- (伊藤委員) 桜が多いが、花が開花していない時期を想定して考えてもよい。今の計画では花の時期は1ヶ月程度となるだろう。
桜の紅葉はそれほどきれいではないし、冬には葉もなくなるので、開花時期以外を考えると、寂しく感じる。
高田のイメージだけでなく、上越地域として捉えて樹種を増やしてはどうか。
- (事務局) 桜の中に他の樹種を織り交ぜるイメージですか。
- (伊藤委員) 個人的な意見であるが、桜はメインのものが数本あれば十分だと思う。
例えば金沢だと雪吊りでイメージが形成できている。この場所も雪が多いのだから雪を見方に見てはどうか。

- (水野座長) 全体的に桜、竹、灌木となっていますが、松は入れているのか。
- (事務局) 松は入れていない。桜の森と呼称しているが、桜を売りとしてこのような空間をつくり、それを魅せるような昇降施設の作り方をしている。
期間が短いという指摘もありましたが、このような空間づくりを行いたい、という趣旨である。
- (飯塚委員) 通年咲く桜があると聞いたことがあるが。
例えば東口であれば順々に咲いていく、ということになると、何時でも桜が見られる、というのもおもしろいと思う。
- (伊藤委員) 四季咲きですか。
色々な時期に咲く桜がある。それぞれが時期を違って咲くというのはできるかもしれないが、ソメイヨシノのような豪華な雰囲気にはならず、ボリュームが得られない。
- (水野座長) 桜がふくよかに咲くためには地面を大きくとるが、その地面において、桜が無い時期を灌木で補い、ペアとなって地域らしさを演出するというのが良いのではないか。
このような組合せができれば、桜をメインにしながらも、桜の無い時期でも楽しめる。
- (関委員) 西口の丸い植栽地部分などにシダレザクラを植えていただいておりますが、美しくなると思うが、街路樹として使われる場合、かなり剪定することにもなると思う。また根廻りも小さく、生育に支障するのではないだろうか。
メインの桜を増やし、街路樹には厳しい条件に強い樹種としてはどうか。
- (事務局) 街路部分の植栽地の幅は、通常は1m程度であるが、通常より幅広く植栽基盤を確保する計画としており、根が舗装部分に進捗しにくいよう配慮している。
- (水野座長) 全体的なところで何かありますか。
先ほど指摘があったが、資料中にユニバーサルデザインについて追加し、配慮事項等を記載してください。
- (本山委員) ユニバーサルデザインの話があったが、高齢者の方が長い距離を歩く際に、ある程度の間隔でベンチがあると良いと思う。自由通路などにも座る場所はあるのですか。
- (事務局) エキナカ空間を設けることを考えており、その中にインフォメーションや待合いのための空間を確保し、休める空間ができると考えている。

自由通路の検討については、次回の会議での協議事項とさせていただきます。

(平野委員) 駅雁木や昇降口や駅舎・自由通路は「耐震構造」「免震構造」のどちらでしょうか。また、地震等の重大災害時の駅利用者(旅客者)の安全・保護・対策・等について、どういう対応をお考えですか。

(事務局) 駅雁木や昇降施設は建築物となるので、建築基準法の基準に合わせて設計、整備される。

上越市では地域防災計画を策定しており、その中で防災活動体制や災害対応体制についてまとめられているので、災害時には当該計画に沿って対応していくことになる。

(伊藤委員) 広場内にトイレが無いと思うが、トイレはどのように考えているのか。

(事務局) 現在、エキナカ空間での整備を想定している。

防犯面などから、広場や公園部分にはトイレは整備しない方向性である。イベント時には仮設トイレでの対応となる。

(関委員) 駅舎の1階部分の利用はどのようになるのか。

(事務局) JRさんの用地となるが、今の時点ではどのように利用されるかは決まっていない。

(事務局) これまでの会議において、地場産の木材や石材についてご意見を頂いていた。

黒野先生より資料を提供頂いていますので、説明いただけますでしょうか。

(黒野副座長) 資料中のベンチ計画等の中で千草石や中山石などについて記載いただいております、よかったです。

雁木下の切越石は安塚で産出されていたもので、歩くと滑りにくく、柔らかな印象であるので、部分的に使って貰えればと思う。

直江津にある旧直江津銀行であるが、こちらにも千草石が使われている。ライオン像にも千草石が使われている。

このようなものが駅周辺に使われれば意味のあるものになると思い、資料提供させていただきました。

(水野座長) 実際に産出されているのですか。

(事務局) 今現在、入手可能なのは妙高市産の千草石となる。

(水野座長) 市域に拘らず、広域圏で考えた方がよいだろう。

- (関委員) 新潟県は越後杉に力を入れている。県内で集中的に産出しているのは県北であるが、できれば上越地域、妙高地域の材木を考えて欲しい。早ければ数も準備できるようであるし、杉の集成材もある。地元産業のためにも是非使って欲しい。
- (事務局) 地場材について、今までにもお話しを頂いている。上越市だけでなく、広域圏で考えていきたい。
産出業者の方とも話をしていて、量を出すのは難しい部分もあるが、シンボルとなる場所には使っていきたいと考えている。
- (飯塚委員) 西口と東口で色味を分けている。
東は和モダンということで駅雁木を中心に和のイメージがでると思うが、ドームが無機質になりかねない。駅雁木だけが浮くのではなく、濃い茶色とグレーを用い、全体の流れがでるような色合いとして貰えればよい。また行灯の部分に桜の色を入れれば、西口とのイメージの関連ができる。
西口は、シンプルで大きな特徴はないように見えるが、一方で全体を馴染ませる、という観点からは非常に良いと思う。優しく柔らかな、落ち着いた空間として進めていただければ良いと思う。
- (平野委員) 駅周辺に桜の木を配して上越観光・上越らしさを演出するのなら、出入り口ガラス戸にユニバーサルデザインとして視覚的に衝突防止用に印や模様を付ける事になると思うが、桜や花びらをイメージする模様にするとうまいと思う。
また、駅前広場に地元の英雄・有名人の銅像(例えば上杉謙信公)を設置すれば観光の一助となるし、記念写真も撮れ、次回こそは春日山城や謙信公祭に来てみようと言う気持ちになって貰えるのではないだろうか。要望では無いが、検討の余地があればお願いしたい。
- (飯塚委員) サインの色合いには明度差をつけていただきたい。階段の踏み面についても同様に明度差をつけるなど、配慮してほしい。
- (水野座長) 色々なご意見をいただきました。
駅としての基本的な分かり易さやユニバーサルデザイン、美しさや印象・記憶に残るということ、上越らしさの表現、色々盛り込んでいく必要がある。
そしてこれらの総合的な結果として駅空間ができあがってくる。
あとは関係者と打合せ、一体となっていく必要がある

ある。そのような点を含め、取りまとめていただきたい。

(事務局) 本日の意見を踏まえ、修正案を提示したい。次回は鉄道運輸機構さんの駅舎デザインの提案に合わせて開かせて頂きたい。

その後、パブリックコメント、10月中もしくは11月上旬に市民フォーラムを実施し、意見を聞いていきたい。

次回は10月中旬を予定させていただきたい。

本日はありがとうございました。

(3)その他 (特になし)

(4)閉会 (事務局より開会)

9 問合せ先

総合政策部新幹線・交通政策課 TEL : 025-526-5111 (内線 1851)

E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第6回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	(株)英香園取締役	出席
内山 勇人	上越青年会議所直前理事長	欠席
大島 政義	和田地区振興協議会前会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会会長	出席
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	出席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	出席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	欠席
平野 仁	会社役員	出席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	(株)JTB 関東上越支店長	出席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
田中 雅史	〃 〃 〃 主任	代理
田村 正文	〃 交通政策局交通政策課長	欠席
小林 佳布	〃 〃 〃 主任	代理
西田 聡	JR東日本新潟支社企画室長	欠席
齋藤 浩	〃 〃 主席	出席
津金 昭一	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	欠席
滑川 昌彦	〃 〃 建築課課長	出席
佐藤 行雄	〃 〃 課長補佐	出席

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	総合政策部長	出席
柴山 弥松	〃 新幹線・交通政策課長	出席
吉田 正典	〃 〃 副課長	出席
伊藤 伸	〃 〃 係長(新幹線・並行在来線担当)	出席
渡来 美香	〃 〃 主任	出席
市川 公男	〃 新幹線新駅周辺整備事務所長	出席
池田 忠之	〃 〃 係長	出席
田中 幸治	〃 〃 主任	出席
委託業者	八千代エンジニアリング株式会社	出席